

# 2020年度「ミュージアム・リレー」参加者募集のお知らせ

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (2020. 3. 1)



豊かな自然と文化に恵まれた西さがみ地域には、多くの特色ある博物館や美術館等のミュージアム施設があります。ミュージアム・リレーは、「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (WESKAMS)」の加盟施設によるリレー形式の催しです。地域の皆様の学習支援と地域文化の発展のため、各施設が連携・協力し、広く一般に公開しています。

各施設の特色を活かした特別な企画や、スタッフによる分かりやすい解説が好評です。ミュージアムに親しみ、理解を深める機会としていただけますよう、皆さまのご参加をお待ちしております。

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (通称 WESKAMS) とは？

神奈川県西部地域のミュージアム施設が相互交流を通じて生涯学習時代にふさわしい「開かれたミュージアム」のあり方を探求するために平成 8 年に設立され、施設相互の研さんやミュージアム・リレーを行っています。

WESKAMS 事務局：神奈川県立生命の星・地球博物館 企画普及課

〒250-0031 小田原市入生田 499 TEL : 0465-21-1515

第 275 走 4 月 17 日 (金) 箱根ビクターセンター 10:00~12:00	
春爛漫のビクターセンター周辺をのんびりお散歩します。見頃を迎えたマメザクラ、ヤマザクラ、ミツバツツジやスミレの仲間の美しい花や芳しい香り、南の国からやって来た色鮮やかな夏鳥の囀り、賑やかなカエルの声…。五感を使って箱根の春を満喫しましょう。	
小さなお子様のご参加も大歓迎です。ご家族、お友達お誘い合わせの上ご参加ください。	
定員 20 名 無料	
電話で 4 月 17 日 (金) まで 定員に達していない場合、当日受付可	Tel. 0460-84-9981

第 276 走 5 月 13 日 (水) 箱根美術館 10:00~12:00 → 箱根写真美術館 13:00~13:50 → 箱根強羅公園 14:00~15:30		
縄文土器から埴輪、鎌倉・室町時代の常滑、瀬戸、備前、信楽などの六古窯、茶の湯のやきもの、中国の古陶磁器など「やきもの」を中心に展示する美術館。苔とモミジの苔庭、巨岩と溪流の石楽園、竹庭など、国の登録記念物に登録された四季折々に美しい庭園を併設しています。当日は、美術館・美術品の解説、庭園の案内の他、通常非公開の施設の特別拝観を予定しています。	箱根出身・在住の写真家、遠藤桂が撮り続ける富士山写真を常設する小美術館です。 箱根から見る富士の魅力、撮影ポイントを解説いたします。	1914 年に開園し、100 年を越える歴史を有しています。 園内には公園のシンボルであるヒマラヤ杉や噴水のほか、白雲洞茶苑や熱帯植物館、ブーゲンビリア館などがあり、スタッフが園内をご案内いたします。
定員 30 名 参加費 3 館で 1,000 円		
往復葉書で 5 月 6 日 (水) 必着 〒250-0408 足柄下郡箱根町強羅 1300 箱根美術館リレー係 宛		Tel. 0460-82-2623

第 277 走 7 月 15 日 (水)	
星の王子さまミュージアム 箱根サンテグジュペリ 10:00~12:00 → 箱根ガラスの森美術館 13:30~15:15	
名作『星の王子さま』とその作者サンテグジュペリを紹介する世界で唯一のミュージアム。映像と展示で作者の生涯をたどり、名作誕生の経緯を詳しく知ることができます。当日はミュージアム入口から展示ホール内を詳しくご案内し、サンテグジュペリの生涯とともに、『星の王子さま』にこめられた大切なメッセージについて解説いたします。	今回のミュージアム・リレーでは特別企画「古代トンボ玉とヴェネチアン・ビーズ展～その輝きのルーツをたどる～」をスタッフがご案内いたします。ヨーロッパを席捲した古代ローマ帝国時代、飛躍的な発展を遂げたガラス素材で制作され、世界中に伝わっていった色彩豊かなトンボ玉。その中でも、人物の顔や目玉文のトンボ玉は、美を飾る装飾品としてだけでなく、災いや魔を払う力を秘めたお守りとしても、人々に身に付けられていました。古代ローマ帝国崩壊後、多彩な色ガラス棒を組み合わせて表現された愛らしい表情や模様のトンボ玉は、時を経て水の都ヴェネチアで復活し、19 世紀以降、古来の技法を生かしながら、繊細優美な草花文のヴェネチアン・ビーズへと進化を遂げます。本展は、多彩なトンボ玉のデザインと、5~12 世紀頃に制作された貴重な古代織物 (コプト織) や 20 世紀初頭のドレス、バッグなどのデザインを比較展示し、また現代作家の感性によって制作されたビーズ作品も併せてご紹介いたします。2000 年以上に渡って世界中の人々を魅了する繊細で小さなトンボ玉の世界をお楽しみください。
定員 50 名程度 参加費 1,000 円 園内アンケートにお答えいただける方	定員 40 名 無料 (駐車料金 300 円 無料の第 3 駐車場も近くにあります)
往復葉書で 6 月 15 日 (月) 必着 Tel. 0460-86-3700 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 909	往復葉書で 7 月 1 日 (水) 必着 Tel. 0460-86-3111 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 940-48
星の王子さまミュージアム ミュージアム・リレー係 宛	箱根ガラスの森美術館 ミュージアム・リレー係 宛

第278走 8月28日(金) 箱根湿生花園 10:00~12:00 → 神奈川県立生命の星・地球博物館 14:00~16:00	
箱根湿生花園は、湿原をはじめとして川や湖沼などの水湿地に生息している植物を中心にした植物園です。園内には、日本各地に点在している湿地帯の植物200種のほか、草原や林、高山植物1100種が集められ、その他、珍しい外国の山草も含め、約1700種の植物が四季折々に花を咲かせます。園路は低地から高山へ、低層湿原から高層湿原へと順に植物を見てまわっています。ミュージアム・リレーでは、当園の学芸員が専門的かつ詳細な解説で皆さまをご案内いたします。	巨大な恐竜や隕石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本により、「生命の星・地球」の誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を展示しています。当日は、特別展「火山列島の自然」(仮)を学芸員がご案内します。火山列島は、小笠原諸島に含まれ、小笠原群島の南西300キロほどに位置する3つの島からなっています。島の誕生からの歴史は比較的新しく数万年とされる中で、それぞれの島には固有動植物が知られています。北硫黄島は、戦後は無人島として経過しており、中硫黄島は第二次大戦での破壊を受け、南硫黄島は平均斜度45度と急峻で人が住んだ歴史がない世界的にも稀有な原始の島と、3島それぞれで非常に異なる顔を見せる興味深い地域です。国内では例を見ない苛酷な探検調査に、昆虫分野担当として参加した学芸員が、探検調査の様子や島の生物進化の様相を紹介いたします。
定員15名 参加費 大人600円 小人300円	定員20名 無料
電話で8月21日(金)まで Tel.0460-84-7293	往復葉書で8月13日(木)必着 Tel.0465-21-1515 〒250-0031 小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館 リレー係 宛

第279走 9月18日(金) 人間国宝美術館 10:00~12:00 → 町立湯河原美術館 13:30~15:30	
当館では、国から重要無形文化財保持者の認定を受けた、いわゆる人間国宝の陶芸・人形・漆芸・染織などの作品を、近代絵画や古陶磁などと取り合わせて常時約200点展示しています。当日は開催中の特別企画展の内容を踏まえながら、人間国宝による陶芸作品の魅力をご紹介します。また、入館者全員に人間国宝など有名作家が作ったお茶碗で抹茶を一服サービスいたします。普段は展示ケースの中に入っているような作品を実際に手に取ることができますので、作品の魅力を心行くまでお楽しみください。	当館には、日本画家・竹内栖鳳を中心に湯河原ゆかりの作品を展示する常設館と現代日本画家・平松礼二の作品を展示する平松礼二館があります。3ヶ月ごとに展示替えを行い、特別展や企画展を開催しています。平松礼二アトリエでは、制作途中の作品や実際に使用している日本画画材を見学することができます。また、四季の自然を楽しめる庭園、足湯付きカフェ、ミュージアムショップも併設しています。当日は、平松礼二館、常設館と昨年新たに収蔵された作品展およびアトリエをご案内いたします。
定員30名 参加費900円(抹茶・菓子付)	定員20名 参加費400円
電話で9月17日(木)16時まで Tel.0465-62-2112 ※駐車場が狭いため、なるべく公共交通機関をご利用ください。	電話で9月17日(木)まで Tel.0465-63-7788

第280走 10月9日(金) 箱根関所 10:00~12:00 → 神奈川県立恩賜箱根公園 13:30~15:30	
箱根関所は江戸時代初期の元和5(1619)年、現在の場所に設置されたと伝わっています。五街道の中でも江戸と京を結ぶ主要な道「東海道」の往来を監視する重要な役割を担い、260年間に亘る徳川政権を支えた重要な交通施設でした。現在の建物は幕末の慶応元(1865)年に大規模改修された時の史料に基づき、当時のままの姿に正確に復元したものです。江戸幕府は全国に53~55ヶ所の関所を設置しましたが、明治になり全て廃止されてしまい現在ではその名残として僅に石碑や看板が建っているといった所が大部分です。そのような中において、ここ箱根関所は建物のみならず周囲に張り巡らされた木柵など、江戸時代の環境を全て復元しています。「一歩足を踏み込めば、そこはまさしく江戸時代！」当時の旅人氣分になって江戸時代の関所をご堪能ください。お待ちしております。	神奈川県立恩賜箱根公園は、明治19年に築造された皇族の避暑地や外国からの来賓をもてなす「箱根離宮」の跡地に広がる公園です。富士山を正面に芦ノ湖を見下ろす景色は往時のままで、当時の離宮「西洋館」の礎石や二百階段など、その痕跡も残されています。春の桜や夏のヤマユリ、秋の紅葉など四季折々の花や造形の美しい樹木などの庭園美も魅力です。また、「かながわの景勝50選」や「関東の富士見100景」にも選ばれており、平成25年には国登録記念物(名勝地関係)、令和元年には「富士・箱根・伊豆『皇室ゆかりの庭園』ツーリズム」として、国の「ガーデンツーリズム登録制度」の第1回の登録も受けており、園内の見所をご案内します。
定員20名 無料	定員20名 無料 (恩賜箱根公園駐車場は有料)
往復葉書で9月29日(火)必着 Tel.0460-83-6635 〒250-0521 足柄下郡箱根町箱根1 箱根関所 宛	電話で10月4日(日)まで Tel.0460-83-7484

第281走 10月23日(金) 真鶴町立中川一政美術館 10:00~12:00 → 真鶴町立遠藤貝類博物館 13:30~15:30	
真鶴町にアトリエを構え、戦後の日本洋画壇をけん引し、文化勲章受章者である中川一政画伯(1893-1991)の美術館です。現在、中川一政美術館では中川一政画伯の絵画を中心に、書、陶芸、蒐集品など700点の作品を収蔵しています。そのうちから常時80点ほどを出品して、年間3~4回テーマ展示を企画しています。当日は、開催中のテーマ展示と、美術館に隣接するお林展望園の建物内に復元した画伯のアトリエを学芸員の解説とともにご案内いたします。真鶴半島自然公園の樹林に囲まれた落ち着いた雰囲気の中で、98歳を目前にして亡くなるまで精力的に創作に取り組んだ中川画伯の芸術世界に触れていただきます。	真鶴町出身の貝類研究家、故遠藤晴雄氏が収集した4500種50000点に及ぶ標本を中心に、海の生き物に関する展示を行っています。ずらりと並ぶコレクションの中でも、特に圧巻なのが「生きた化石」と呼ばれるオキナエビス類で、現生する30種のうち27種を展示しています。施設は真鶴半島の先端、三ツ石海岸のすぐそばにあり、海の生き物を楽しみながら学ぶことのできる体験プログラムも実施しています。当日は、開催中の開館10周年記念展「大貝展」(仮)を学芸員がご案内します。
定員30名 参加費200円 高校生以下無料	定員20名程度 参加費 大人200円 小人100円
電話で10月22日(木)まで Tel.0465-68-1128	電話で10月21日(水)まで Tel.0465-68-2111

第282走 11月6日(金) 徳富蘇峰記念館 10:00~12:00 → 二宮町ふたみ記念館 13:30~15:30	
開催中の「徳富蘇峰愛用の印章コレクション」展をご案内いたします。徳富蘇峰は、約500のハンコを所蔵していましたが、その中でも特に愛用していた130の印章を一堂に取り揃えご紹介します。著名篆刻家の作品をはじめ、姓名印、雅号印、住所印からユニークなハンコまで、文人・蘇峰が残した印章の世界をお楽しみください。	ふたみ記念館は、二宮が生んだ異才の洋画家「二見利節(ふたみとしとき)」の記念館で、利節の生誕100年を記念して2011年10月に開館し2021年10月に10周年を迎えます。利節は、小田原在住の画家「井上三綱」に指導を仰ぎ、油絵の制作を続けました。二見芸術の集大成である、屋根葺き用タールをしみこませた防水紙(ルーフィング)を画布とし、独特の風合いで描いた絵巻「呉服屋の看板」など二見利節の独特の世界を、ぜひ間近に見に来てください。当日は、利節の作品について、水彩連盟代表の忠隈宏子氏が解説いたします。
定員20名 参加費400円	定員30名 無料
電話で11月3日(火)まで Tel.0463-71-0266	電話またはメールで11月5日(木)まで Tel.0463-72-6912 メール: <a href="mailto:radiant@town.ninomiya.kanagawa.jp">radiant@town.ninomiya.kanagawa.jp</a> (二宮町生涯学習センター 生涯学習課)

第283走 11月20日(金) 箱根ドールハウス美術館 10:00~12:00 → 箱根町立郷土資料館 14:00~16:00	
ドールハウスとは「小さな家」を意味し、実際の12分の1サイズを基準に再現されたミニチュアの家や家具調度品を指します。16世紀のドイツが発祥と伝えられています。19世紀頃にイギリスの市民層を中心に流行し、その後はアメリカ、日本へと普及していきました。当館では、世界二大プライベートコレクションと称される、「ヴィヴィアン・グリーンコレクション」と「モッツコレクション」をはじめ、イギリス、アメリカ、ドイツなどの世界中の作品や現代の日本の作品を展示しています。当日は、館長によるギャラリートークを実施いたします。館長の提唱する6つのキーワード(“見る” “遊ぶ” “学ぶ” “作る” “集める” “旅する”)を来館者の皆様に体験していただき、楽しいミニチュアワールドをご案内いたします。	湯治場として知られた箱根が江戸時代頃を境に現在の温泉観光地へと移り変わっていく様子を、温泉開発などを絡めて紹介しています。また、体験コーナーでは、ミニチュアの「わらじ作り」や「からくり細工」体験、塗り絵で明治時代の彩色写真を疑似体験するコーナーもありますので、お立ち寄りの際は、ぜひチャレンジしてください。今回のミュージアム・リレーでは、現在残された箱根町内各地の村絵図などを通して、そのあゆみをご覧いただく企画展「絵図から読み解く箱根の村々」(仮)を中心に解説いたします。
定員20名 参加費 大人600円 大学生・高校生・中学生・小学生300円 (ドリンク付)	定員20名 無料
電話またはメールで10月20日(火)17時まで Tel.0460-85-1321 メール: ミュージアムリレー係 小山 宛 <a href="mailto:mkoyama@pierota.co.jp">mkoyama@pierota.co.jp</a>	電話で11月19日(木)まで Tel.0460-85-7601

第284走 12月1日(火) おだわら諏訪の原公園 10:00~12:00 → 小田原城天守閣 14:00~16:00	
里山の自然や地域文化とのふれあいを通じて、遊びながら学ぶ喜び、発見できる喜びを体験できる「ふるさとふれあい公園」です。クラフトコーナーのあるパークセンターや芝生の広場、眺望抜群の展望台、169メートルのローラー滑り台、ミカンとキウイの果樹園、菜園などがあります。また、未病を改善する取り組みを気軽に実践いただける「未病いやしの里の駅」の「運動の駅」として、毎日のラジオ体操や毎月の運動イベントを続けています。当日は、ミカンを中心とした柑橘類のガイドツアー、ミカンの収穫体験などを実施します。	令和2年(2020)は、昭和15年(1940)に小田原市制が施行されてから80年であり、市制施行20周年記念事業として昭和35年(1960)に行われた小田原城天守閣の復興からも60年となる節目の年です。これを記念し、特別展「小田原城天守閣復興60年」(仮)を開催いたします。今回は、この特別展を含む小田原城天守閣と常盤木門SAMURAI館の展示をご案内いたします。
10組(応募多数の場合は抽選) 参加費500円(1組)	定員40名 無料
電話で10月27日(火)~11月17日(火)の9時~17時半 Tel.0465-34-0404	電話またはメールで11月27日(金)17時まで Tel.0465-23-1373 メール: <a href="mailto:odawara-castle@city.odawara.kanagawa.jp">odawara-castle@city.odawara.kanagawa.jp</a> ※天守閣及び常盤木門SAMURAI館への入場は階段のみとなっています。

第285走 12月9日(水) 箱根ラリック美術館 10:00~12:00	
フランスを代表するジュエリーとガラス工芸の巨匠、ルネ・ラリック(1860-1945)の生涯に渡る作品に出会える美術館です。展示室には、多くの女性を魅了した美しい香水瓶や、色鮮やかな宝飾品、空間をガラスで演出した作品など、幅広いジャンルの中から厳選した作品、約230点を展示しています。当日は、ジュエリーとガラス工芸という全く異なる二つの分野で成功を遂げた、ラリックの姿勢や想いを分かりやすくスタッフが解説いたします。	
定員50名 参加費800円	
往復葉書で11月26日(木)必着	Tel.0460-84-2255
〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原186-1 箱根ラリック美術館 ミュージアム・リレー係 宛	

第286走 1月22日(金) 箱根駅伝ミュージアム 10:00~12:00 → 箱根町立箱根ジオミュージアム 14:00~16:00	
1920年の第1回大会から今日に至るまで、100年におよぶ数々の名場面を生み出した箱根駅伝の歴史をお楽しみいただけます。 各大会の名シーンを記録した貴重な写真や、往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にあるさまざまなエピソードなどを、テーマを区切って展示してあります。 箱根駅伝の歴史をお楽しみください。	当館は箱根ロープウェイ大涌谷駅前の黒たまご館1階にある施設です。当日は館内展示解説と大涌谷周辺の屋外観察会(悪天候時は中止)を予定しております。館内展示では臨時休館中にリニューアルした石畳展示、岩石・火山灰標本に加え、最近の箱根火山の地震活動・地殻変動をまとめたパネルの解説を行います。屋外観察会では大涌谷の噴気や蒸気井を始め周辺の箱根火山や富士火山等の地形を見ます。条件によっては東京スカイツリー、東京タワーも肉眼で確認できるかもしれません。終了予定時刻(16時)は園地内各売店の冬季営業終了時刻になりますので、お土産等は開始前に購入されることをお勧めします。
定員20名 参加費450円	定員20名 参加費100円
電話で1月21日(木) 午前まで Tel.0460-83-7511	電話で1月21日(木) まで Tel.0460-83-8140 お車で越しの方へ:急な積雪にご注意ください。駐車場待ちで渋滞の可能性があります。ロープウェイで越しの方へ:強風で運休する場合があります。

第287走 2月5日(金) MOA美術館 10:00~12:00	
MOA美術館のコレクションは、創立者・岡田茂吉(1873~1955)が蒐集した日本・中国をはじめとする東洋美術を中心に構成されています。開催中のコレクションについて学芸員が紹介をいたします。梅花の香る熱海で日本・東洋美術の精華をゆっくりとご鑑賞ください。 (場所:MOA美術館能楽堂)	
定員100名 参加費1,000円	
往復葉書で2月1日(月) 必着 〒413-8511 静岡県熱海市桃山町26-2 MOA美術館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel.0557-84-2567	

第288走 2月19日(金) 小田原フラワーガーデン 10:00~12:00 → 小田原市尊徳記念館 13:30~15:30	
四季折々の花が楽しめる小田原フラワーガーデンの2月は、梅の季節です。公園の約半分の面積(約2ha)に広がる「溪流の梅園」は、約200品種480本の梅が植栽されており、梅の品種は県内最多数を誇ります。 当日は梅のマメ知識や品種ごとの見所が分かる「溪流の庭園ガイドツアー」や、約300種類の熱帯植物が楽しめる「トロピカルドーム温室ガイドツアー」を行います。また当園の人気イベント、すっぱいレモンが甘くなる!?不思議な果実体験「ミラクルフルーツ体験」も行います。	小田原市尊徳記念館は、二宮尊徳翁(二宮金次郎)および報徳仕法の顕彰・普及を目的としてつくられた施設です。当館のある小田原市栢山は尊徳翁の生誕地であり、敷地内には、翁の生家と、ジオラマやアニメーション、資料を通して翁の生涯を解説する展示室があります。また、当館の周辺には、捨て苗栽培地や菩提寺の善栄寺といった翁にまつわる史跡や、翁の顕彰を目的につくられたモニュメントが複数あります。当日は、明治時代から昭和初期にかけて栢山で行われていた翁の顕彰活動について当館学芸員が解説したのち、展示室や周辺の史跡を見学する予定です。
定員20名 参加費200円	定員30名 無料
電話で2月18日(木) まで Tel.0465-34-2814	電話で2月17日(水) まで Tel.0465-36-2381 ※1/15(金)より受付

第289走 3月5日(金) 小田原文学館 10:00~12:00 → 神奈川県立生命の星・地球博物館 13:30~15:30	
当館の建物は、明治政府のもとで宮内大臣などを歴任した、伯爵田中光顕の別邸として建てられたものです。小田原出身・ゆかりの文学者の資料を展示する本館と、大正時代に小田原で創作活動を行った北原白秋を紹介する別館はいずれも国登録有形文化財で、四季折々に美しい姿を見せる庭園も見どころです。 当日は、小田原文学館の魅力を解説付きでご案内いたします。また当日は改修工事の実施により館内の一部が見学できないことがあります。その場合は、館内の見学と併せて文学館周辺の文学散歩を行います。	巨大な恐竜や隕石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本により、「生命の星・地球」の誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を展示しています。当日は、企画展「かながわ発 きのこの新種展」(仮)を学芸員がご案内いたします。本企画展では、近年発表された新種のきのこの標本を、神奈川県産のものを中心に多数展示します。きのこを始めとする菌類には、まだ名前がついていない「未記載種」が驚くほど多く残されています。当博物館で日頃から集めている菌類標本も、実は正体のよく分からないものが多くを占めています。そのような標本が多くのアマチュア愛好家の協力のもと収集・研究され、学術的に貴重な「新種」となる過程を、展示を通して実感していただきます。
定員30名 無料	定員20名 無料
メールで3月4日(木) 17時まで Tel.0465-22-9881 ※2/1(月)より受付 メール:to-hoshi@city.odawara.kanagawa.jp	往復葉書で2月18日(木) 必着 Tel.0465-21-1515 〒250-0031 小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館 リレー係 宛

【お申込み方法】施設ごとに指定の方法でお申し込み下さい。

電話・メールの場合(先着順):参加人数、参加者全員の住所・氏名・電話番号をお伝えください。

往復葉書の場合(抽選):往信面に①参加希望の館園名、②参加人数、③参加者全員の住所・氏名・電話番号

返信面に申し込まれた方の住所・宛名 を書いてお申込み下さい(締切日必着です)。

- \* 特に記載のない限り各開催日の3か月前から受け付けます。
- \* 各施設、お1人・1グループにつき1回の申込みでお願いします。
- \* 開催場所への移動は各自でお願いいたします。
- \* 別途、駐車料金がかかる場合があります。